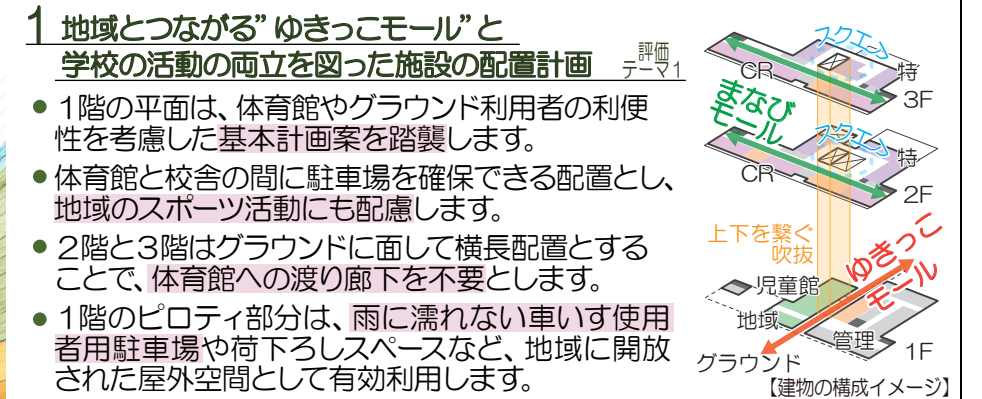
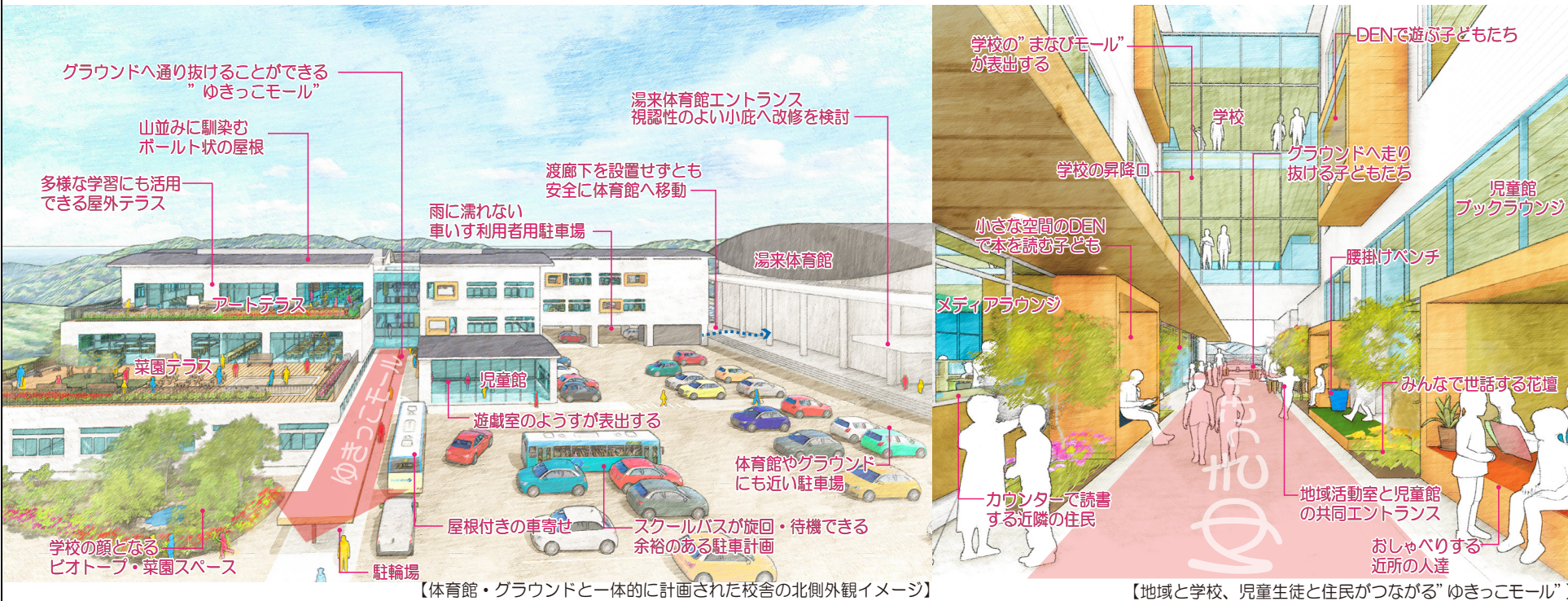


評価テーマ1「主体的で深い学びを実現することができる施設」、評価テーマ2「地域と連携・協働できる施設」、評価テーマ3「湯来地域の豊かな自然になじむ木質感あふれる施設」及びその他、設計上の配慮事項等（評価テーマに対する内容を除く。）に対する技術提案（1／2）

地域とつながる ”ゆきっこモール” が、自由な発想と学びを育んでいく学校



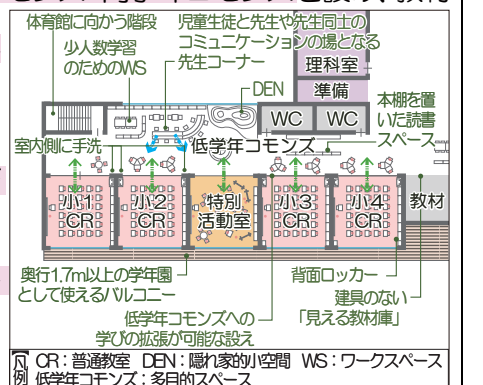
2 児童生徒の発達に応じた柔軟な学習を実現する”まなびモール” 評価テーマ1

①明るく日当たりのよい普通教室の配置

- 活動時間の異なる低学年用普通教室（CR）は2階に、高学年用普通教室は3階に分けて配置し、下校や移動教室の際に動線が重複しないように配慮します。
- CRは日当たりのよいグラウンド側に配置し、快適で健康的な空間とします。
- 各CRには専用のバルコニーを設けることで、朝顔観察などの屋外活動を気軽に行える学年園として活用するとともに、不審者侵入時の第3の避難経路を確保できます。

②ゆとりあるオープンスペースの確保

- CRの前には、十分な広さの低学年 commons・高学年 commons を設け、教材コーナーやワークスペース (WS)、先生コーナーを備えた多様な学習形態に対応できる計画とします。
 - 低学年 commons (多目的スペース) は、DEN や小上がりなど隠れ家的な小さな場所を設けるとともに、低学年がのびのびと遊べるスペースを計画します。
 - 高学年 commons (新世代型学習空間) は、グループワークや受験に向けた静かな学習スペースなど、高学年の様々な学習に対応できる空間づくりを行います。
-
- 体育館に向かう階段
児童生徒と先生や先生同士のコミュニケーションの場となる先生コーナー
理科室
DEN
準備
本棚を置いた読書スペース
WC
WC
室内側に手洗
低学年 commons
小1 CR
小2 CR
特別活動室
小3 CR
小4 CR
教材
奥行1.7m以上の学年廊として使える/リセー
低学年 commons への学びの拡張が可能な設え
背面ロッカー
建具のない「見える教材庫」
- 凡例 CR: 普通教室 DEN: 隠れ家的小空間 WS: ワークスペース
低学年 commons: 多目的スペース



③学びを広げるICT環境の整備

プロジェクターやスクリーン、アクセスポイントなど、ICTに必要な設備を適切に計画します。将来のICT進化への対応も提案します。

3 教科横断的な学びを可能にする特別教室廻りの計画

- 特別教室はSTEAM教育を可能にする「ライフスクエア」「アートスクエア」を取り囲むように設置し、教科横断的な学びを可能にします。
 - 教材室や準備室は、「見える教材庫」と「先生コーナー」としてオープン化を行い、教材に触れる機会や先生との交流を促進して、児童生徒の学習意欲を高めます。
 - 十分な展示スペースを設け、学習での成果や活動を掲示する現在の学校文化を引継ぎます。
-
- 【アートスクエアのイメージ】

